

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	応用防災通信	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学専攻 (ビジネスコミュニケーション学コース)		対象学年		専2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	プリント使用						
担当教員	霜田 宜久						
到達目標							
①地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対するハード面の対策を説明できる。 ②災害に対するソフト面からの対策を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対し、ハード・ソフト合わせた総合的な減災対策について学習する。						
授業の進め方・方法							
注意点	随時小テストを実施するので、授業中もその対応ができるようにしておく。 減災についてハード、ソフト両面から総合的に説明するため、各自治市や県の地域防災計画等を読み、減災の全体像を把握することに努める。 自学自習の確認方法：ミニテストで確認する。 定期試験の成績を80%、随時実施する小テストの成績を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	総論		災害の歴史		
		2週	津波災害 1		津波被害の歴史と対策		
		3週	津波被害 2		東日本大震災と復興事業 1		
		4週	津波災害 3		東日本大震災と復興事業 2		
		5週	地震災害 1		地震災害の歴史と対策		
		6週	地震災害 2		地震災害と対策		
		7週	水害 1		水害の歴史と対策、都市型水害		
		8週	火災		火災の歴史と対策		
	4thQ	9週	土砂災害		土砂崩れと対策		
		10週	現地調査		市街地における各種災害の危険性		
		11週	災害予防計画 1		通信体制、緊急輸送網		
		12週	災害予防計画 2		住民組織、NPO		
		13週	災害緊急・復旧対策1		各種警報、初動態勢、救助・救急対策		
		14週	災害緊急・復旧対策2		避難者対策、公共・公益施設の復旧		
		15週	総括				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0